

## 日本技術士会近畿本部登録中国研究会主催 2018 第 1 回訪韓団概略報告

2018.12.24 訪韓団団長 掛田健二(衛生工学)

2018 年 4 月から大邱(Daegu、テグ)市にある永進(ヨンジン)専門大学校(2 年制。6 月から 4 年制増設)機械応用系列&韓日企業支援センター教授として招聘された、平野富夫工博・技術士(中国研究会会友)から、大邱市開発地区と永進専門大学校視察で大邱市内交通費・食費補助有りとのことのお誘いがあり、中国研究会主催第1回訪韓団を 11 月 21 日から 24 日まで公募 4 名で派遣した。LCC エアプサン往復 17,100 円、4 星ホテル 1 室 2 人 3 泊 39,000 円(朝食無し)、手数料 2 人 1 万円。一人当たり 41,600 円。補助がなければ 6 万円が必要。

大邱広域市はソウル、釜山に次ぐ第 3 の人口 124 万人の直轄市(仁川とほぼ同規模)で韓国南東内陸部。新羅旧都 慶州市に隣接し、KTX 高速鉄道で浦項市まで 30 分、プサン 1 時間、ソウル 2 時間。繊維業から発展、サムソン(三星)財閥祖業の地。現在は先端生産技術の繊維ファッション産業が発達、機械・金属と先端知識産業を育成。ソウルの研究開発部門を一部移転させグリーンエネルギー、IT 複合産業を戦略産業、先端医療複合団地と大邱テクノポリスを造成済み。2015 世界水会議開催により、水産業の中心へ。今回の日程は下記。

11/21 (水) 関西 KIX 12:50→大邱 14:20。永進専門大学校 注文式教育を視察。歓迎夕食会。

11/22 (木) AM 市役所表敬訪問、ロボット振興会館訪問。PM メディシティ(医療団地)訪問(市役所課長、永進教授同行)。市内薬市場、漢方薬博物館見学。夕食会。

11/23 (金) 慶州市観光(大邱-慶州 車 1 時間)。天馬塚(古墳)・暁星台・仏国寺・石窟庵見学。

11/24 (土) 市内観光・桐華寺。昼食後 大邱 15:15 → 関西 16:40。帰国解散。

専門大学は技術系高等教育機関(職業大学)のひとつで 2-3 年制の理工系が主、中堅工業技術者の養成を主に徹底した実業教育を実施。一般大学は 4 年制で理論中心の研究職養成(研究大学)。高校卒業後に男子は国民皆兵で 18 ヶ月従軍。退役後に専門大学に進学する学生も多く、20 才と 25 才以上が混在。

永進専門大学校は理系 7 系列・福祉教育国防 5 学科からなる。一般高校からの進学者が多く、2 年間で必要な実務習得のために一般教養や保健体育授業無し、クラブ活動無し、夏・冬休みも実質無しで補習授業を実施。1995 年に注文式教育(Customized Education:企業からの要求を徹底して実現して学生の実力を向上させ、就職に結びつける)を最初に採用して就職率を上げたため、方式が全国に拡大。教授の 60%は企業勤務経験者。財閥系企業への就職は狭き門であり、韓国産業の不況・就職者数減少により、日本企業向け就職を開拓中。コンピュータ情報系列では C 言語を徹底教育、LaboView 教育もある。コンピュータ応用機械系列では金型製作に 3D プリンター、マシニングセンターを使用した実習。電子情報通信系列では 1 年生から回路製作実習。韓日企業支援センター長の鄭教授は東大卒、金教授は九工大卒でいずれも日本企業勤務後に転籍。

市役所での説明で、韓国の国富の 70%がソウルに集中、是正のため研究開発施設を分散中。大邱市にロボット・医療・IoT・水処理を移設、企業開発製品の評価施設を見学。日本の技術伝統は 100 年、韓国は 30 年ゆえ、日本の投資を期待との意向表明。

慶州観光では日本の古墳のルーツを、漢方薬博物館・問屋街で健康志向を、繁華街での若者文化の勢いを感じた。11 月中旬は日本とほぼ同じ気候。大邱市で時雨れたが、ソウルでは雪。食事は平野教授懇意の居酒屋で美味しくいただいた。2019 年 5 月の第 2 回訪韓団は大邱市の企業見学を含めて企画中。

(終)

